

3 健康チェックと収容後の健康管理

収容された子犬は、健康チェックを行い、譲渡までの期間中、適切に健康管理します。
健康チェックや管理の基準は、各施設によってさまざまです。
以下は、長野県動物愛護センター（ハローアニマル）の事例です。

子犬の健康管理フローチャート

長野県動物愛護センター（ハローアニマル）の事例

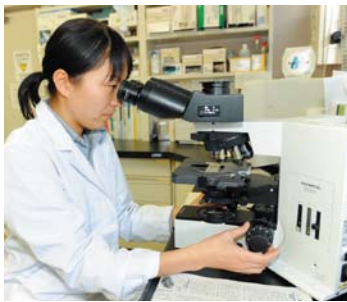
★当日

保健所

保健所に収容された個体の中から、健康状態・性格診断の結果、引き継ぎ出来る個体を選定し、センターに搬送



※1 個体カルテ作成



※2 糞便検査



※3 健康診断

保護室

個体識別（カルテ番号処理、個体カルテ作成）※1
シャンプー、肛門周囲・指間・耳介内部の毛カット、爪切り、のみ取り
疾病の有無確認
ワクチン接種（1回目：犬5種混合）
糞便検査、駆虫※2
健康診断（1回／2週）※3
食事量決定

異常が認められた場合

診察室

異常が認められた場合
検査を行う

検査室

血液検査、尿検査
寄生虫検査
ウイルス抗体検査
動物由来感染症検査

隔離室

疾病治療

糞便検査後、シャンプーして移動





※4 ワクチン接種



※5 不妊手術

★14日

観察室

健康管理
ワクチン接種(2回目：犬8種混合)※4
健康診断(1回/2週)
食事量決定

健康状態・体重により適宜

手術室

不妊・去勢手術※5
(健康状態・体重により適宜実施)
マイクロチップ装着※6



術後観察室

術後健康管理
糞便検査
抜糸(メス8日目オス5日目)

★24日

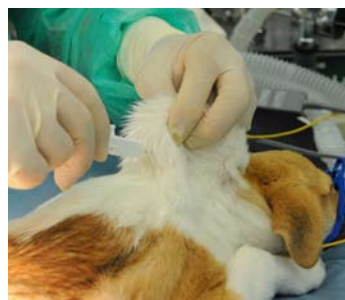
パピールーム

健康管理※7
健康診断(1回/2週)
食事量決定
健康診断(最終)
シャンプー、爪切り等

糞便検査後、シャンプーして移動

★45日

譲渡会



※6 マイクロチップ装着



※7 健康管理

事例②

茨城県

マイクロチップの装着



マイクロチップ実物大

茨城県動物指導センターが主催する子犬の譲渡会で譲渡する子犬にはすべてマイクロチップが埋め込まれてから一般に譲渡されます。平成19年10月から、県の獣医師会の協力で行われているもので、獣医師会が物資と登録料を負担し、センターの職員(獣医師)が埋込み作業を行っています。マイクロチップは迷子や脱走、緊急災害時や不慮の事故、盗難防止に威力を発揮し、飼い主との再会率を高めます。マイクロチップの埋込みは犬では、生後2週令、猫では生後4週令から可能と言われています。

